

流星 第27号(OB 会誌14号)

題字 河村先生(元部長)

イラスト 伊東(44)

目次

巻頭言	部顧問	平木 教授	2
所感	会長	木村(36)	3
新主将挨拶	新主将	近藤(2年)	4
新 OB 会連絡員挨拶		金粕(2年)	4
新入部員挨拶			5
自動車部 2015 年度活動報告、2016 年度活動計画、決算報告			6
活動報告1;2015 年第 53 回 KIT Night ラリー詳細	ラリー委員長	杉谷(2年)	8
活動報告2;エコドライブチャンピオンシップ 2015 の参加報告		近藤(2年)	9
現役支援活動1;アベレージラリー練習会	現役交流担当	山下(H1)	10
現役支援活動2;現役サポート隊の取組みについて	同上	同上	11
OB 会 27 年度活動、28 年度活動計画	事務局	中西(50)	13
OB 会 27 年度会計報告、28 年度予算	会計	武地(51)	14
OB 会 会費、部活動援助費、OB 会カンパ振り込み状況			16
OB 会 会計監査	会計監査	田中(45)	17
特別企画 ;第8回自動車部 OB 会総会報告	関東地区準備委員会	早田(54)	17
OB 総会総会を終えて、準備振り返り	坂井(52)、	佐藤(46)	18
OB 総会に参加して 現役主将 吉岡(3年)、OB 担当 平田(2年)			20
総会イベント1;スカベンジャーラリー		武地(51)	21
総会イベント2;KITAC Kart GP in 湘南	小川(63)、松本(H14)		22
多様化への夢	関東地区幹事	門司(37)	24
次回総会開催宣言	関西地区幹事	山崎(49)	
会員名簿、物故者名簿			25
編集後記			26

「進化は退化？」

部顧問 平木 教授

今のクルマは劇的に進化している。燃料リッターあたりの走行距離の伸びは驚異的だし、衝突回避機能はもはや標準装備になりつつある。パーツの軽量化や熱効率の改善など、燃費改善を支える各サプライヤの地道で尽きることのない努力には本当に頭が下がるし、それらを一つのパッケージへとまとめ上げるインテグレーターの仕事はシステム屋の極致にちがいない。だから、今のクルマは人類の作り出した最高のシステムのうちの一つであろう。石油資源の枯渇と地球環境の保護に対応するとともに、搭乗者・歩行者双方にとっての安全性もさらに高められている。これはまさに進化である。

ところで、進化とは、ほぼ使う機会のない機能を切り捨てて、とりまく環境により高度に適合するように、特定の機能を強化させることである、と解釈している。強化された機能の側から見ると、これは「進化」であるが、切り捨てられた機能の側から見ると「退化」になる。では、クルマにおいて切り捨てられた機能とはなんだろうか？それは、「運転する楽しみ」ではないか、と思う。人間によるアクセル操作は、システムから見れば不合理なことこの上ない。オートマチック車でもマニュアルでシフトアップ・ダウンはできるが、システムの許容範囲を超えた要求は無視される。「運転する楽しみ」を求める人間による操作は、効率の観点からは否定されるべきもので、退化させても差し支えないことになる。

つい最近、通勤に使うクルマを買い換えた。探す際の条件は、・MT ターボであること、・コンパクトカーであること、・機能はシンプルであること、の三つであった。この条件のうちどれ一つとっても、ぜいたくなものとは思えないのであるが、三つ揃うとそれはそれでわがままな要求であるらしく、選択枝がほとんどなかった。唯一

選ぶことができたのは、不正ソフトの存在で世界を騒がしている某 V 社の中古車であった。型落ちのものでないと、高機能かつ高価格になってしまったためだが、おかげでこれまでに発覚している不正とは無縁のようである。ところで、その乗車感は「ダイレクト」という言葉がふさわしい。シフトフィールもステアリングフィールも加速感も、どれ一つとっても「動かしている」という感覚を返すように作られているようである。騒音ですらそのまま車内に返そうとしているかのように、日本車に比べてはるかにうるさい。こじつけかもしれないが、狩猟民族のクルマのようだ。まるで馬を操るがごとくクルマも操るもので、意のままに動かすために、ダイレクト感を何よりも重視しているのではないか。よって、クルマも狩りのための道具でしかなく、道具に求められる必然的機能を持たせているだけで、別に「運転する楽しみ」を残そうとしているわけではないのかもしれない。

それに対して、日本人にとってのクルマは移動するための道具でしかなく、そこに快適性を求めるのはごく自然なことである。「楽に移動する」ための機能を強化して、求められていない「操作感」を極力弱めていくのは理解できる。だから、自動運転を追い求めるのは日本とアメリカ(クルマは移動のための究極の道具)が中心になるのもわかる。それなら、ヨーロッパではどうなっていくだろう。

もはや人間は運転の制御ループの中に必要ない。しかも快適に移動できて、その間の時間も自由に使えて、おまけに地球にも周囲の人間にも優しいときた。そこにいったい何の不満があるだろうか。でも、何か物足りない気がする。それこそ進化の裏で退化しつつある人間の機能なのだが、それが何だかすらよくわからなくなってきた…。 了

平成27年 OB 総会を終えて

自動車部 OB 会会長 木村(36)

第8回明専・九州工大自動車部OB会総会は、総勢35名の会員、来賓の皆さんのご参加を得て「KKRホテル熱海」で9月26, 27日の日程で開催され、つつがなく終了しました。ご参加の皆さん、開催に汗を流された関東地区準備委員会の皆さんに、厚くお礼申し上げます。総会前の役員会、総会における報告事項、承認事項の詳細については、それぞれホームページの議事録でご確認ください。全体の流れとして、OB会の目的である「会員相互の扶助親睦を図るとともに現役自動車部の発展に寄与する」に向けて、一步一步着実に前進していると感じています。特に現役支援については、担当役員が山下氏1名体制となり、負担の増加が懸念されますが、支援隊メンバーと共に、「現役支援・交流実施要領」等に基づき、きめ細かい協力と運用管理をお願いします。

更に、これまで各総会に、顧問の先生、現役学生2名の参加をお願いして来ましたが、3名の方々には、総会出席者の参加費から宿泊費と宴会費を負担してきましたが、現役学生にとっては、出席のための交通費が大きな負担となっており、これを何とかしたいと役員会に提案がありました。一方OB会会計も、会員1人当たり2,000円/2年の会費と、任意のカンパが原資で余裕がありませんが、我々も、学生時代を振りかえって見ると、彼らにとって交通費の負担がいかに大きいかがよく分かります。討議の結果、地元開催を除いて、1名分の往復新幹線交通費を、OB会会計より負担することに決定。現役学生には、この原資で工夫をして2名参加して貰うことに決定しました。顧問の先生には、従来通りでお願いをして了解して頂きました。従って、これからの会費振り込み時には、皆さんのご理解と共に、任意のカンパへのこれまで以上のご協力をお願いします。

今回の総会では、実行委員会の企画で、26日のスカベンジャーラリー、明トラ大会、27日のカート大会、熱海散策コースが開催されました。私

はカート大会に、見学応援で参加しました。私にとって、カート大会は初めての経験で、遊園地にあるゴーカーよりちょっと早いかな、と想像していましたが、予想外の迫力で驚きました。若し参加していたら、方々にクラッシュして、むち打ち、腰痛でダウンしていただろうと思い、同時に現役学生を含め、年配のレーサーの、「昔取った杵柄」の技術の高さを実感しました。いい経験になり、楽しい思い出になりました。

さて、話は変わって、自動車関連記事で驚くべきニュースが流れました。トヨタと販売台数1位を争っていたフォルクスワーゲン社が、ディーゼル車の排ガス規制をクリアするために、不正ソフトにより、排ガステスト時のみ脱硝装置を作動させて合格し、路上運転時は、規制値の最大40倍のNOXを排出していた、と云う驚くべき犯罪報道です。今犯罪と書きましたが、この事件は、単なるミステークによるものとは性格が異なると思います。会社では、一部の技術者の責任としているようだが、約7年前から、複数の車種で、総計 1,100 万台という、信じられない程多数の車で行われた、確信的業務上偽装ではないかと思われます。経営者が関知せず、技術者だけの判断で、これだけの偽装が行えるとは思えない。1,100 万台もの車が、7年間にわたって、大気を不当に汚染し続けたこの犯罪は、「社会正義と信頼性、公平性」への悪質な背信であり、懲罰的課徴金を含めて、厳しく裁かれる事になるのではないかと思われます。その後、炭酸ガス排出でも、不正があったことが報道されており、あの技術に厳格なドイツで、何故このような偽装が行われ、アメリカで暴露されるまで、7年も隠蔽され続けたのか、真相の解明が待たれるところである。10年前まで、現役の技術者であった者の一人として、経営側からの偽装要求があったと仮定して、技術者のプライドをかけて、真実に正面から向き合い妥協しない事の重大さと困難さを、改めて深く感じている所である。 以上

新主将挨拶

責善会自動車部 第76代主将

近藤 (2回生2年)

先輩皆様にはご清勝のこととお慶び申し上げます。

私は、第76代主将を務めさせて頂く2回生の近藤と申します。この度、主将という大役を任せて頂くこととなり光栄に思うとともに、自分達の世代が部を引っ張って行けるよう努力しなければならぬと感じています。

現在、自動車部の部員数は“若者の車離れ”に代表されるような時代変化の影響も少なからずあり、昔よりも少ない状態です。しかし、今も昔

も変わらない運転することの楽しさや車いじりの奥深さのような“車の楽しさ”を広く伝えるとともに、自分達が先輩方から受け継いだ伝統や技術を後輩に伝えてゆくことが自分達のなすべきことだと考えています。

まだまだ未熟者ではありますが、部員全員で協力して部を盛り上げたいと思っておりますので、今後とも先輩方のご助言、ご協力をよろしくお願い致します。

新OB会連絡員挨拶

金粕 2回生2年

この度、平田さんから、OB 連絡員を引き継ぎました、機械知能工学科 2回生の金粕雅史と申します。今後『流星』や、OB 会に関する自動車

の窓口は自分が担当します。よろしくお願ひします。

部員名簿

H27.12月現在

役職	学科・学年	氏名	役職	学科・学年	氏名
監督	3	吉岡		4	漆原
主将	2	近藤		4	今門
ラリー委員長	2	河本		4	日野
主務・OB担当	2	金粕		2	杉谷
会計	2	平田		2	有川
学連	2	近藤		1	室津
学連	3	穴井		1	霧
	4	坂元			

新入部員挨拶

1. 轟(1回生1年)

私が自動車部に入部したのは父の影響で入部しました。父は自動車整備士でした。そのため、小さいころから父の隣で車の整備の手伝いをしていました。車の整備と言ってもタイヤ交換など簡単なことしかしていません。その影響もあって、興味が湧き自動車をいじってみたくなり入

部しました。また、私は頭文字Dを見てこんな風に車を自分の手で動かしてみたいなと思ったことも入部した一つの理由です。自動車部では、車を自分で買って自分で整備ができるようにしたいです。そして、人間的にも、精神的にも成長できるように頑張りたいと思います。

2. 室津(1回生1年)

私は、もともと自動車に興味があり、将来的に自動車関係の職に就きたいと思っていました。しかし、メカニクの知識は全くなく、自動車に精通しているとは言えない状況でした。そこで日々自動車の整備をしている自動車部に入部しました。

実際に入部してみると活動内容の軸は、‘自動車への理解を深め運転技術の向上を図る’ということを目標に活動が行われていることが分かりました。

運転しやすい車を作るうえで運転手の目線も大切であるため運転の技術も向上させていきたいです。

3. 金粕(2回生2年)

自分が自動車部に入ろうと思ったのは、免許を取り運転の楽しさを知って自動車に関して興味を持ったのと、せっかく工業大学に入ったのだから工業大学らしいことをしたいと言う思いもあり、2年からでしたが入部を決めました。

入部して半年くらいで早速車を購入し勉強、バイト、車と頑張っています。これから更にドライビング、整備ともに頑張り、部に貢献したいと思っています。

これからよろしくお願ひします

4. 有川(3回生3年)

私が自動車部に入部するきっかけは私が小学生の頃からレーシングカートをしていたことだと思います。

レーシングカートをしていた頃、私は真面目にF1ドライバーになりたいと思っていました。そのため全日本カート選手権にもフル参戦していた時期もあります。しかしながら、中3の時に自分では不可能だと確信してしまいレーシングカートを辞めました。

そこから6年経った大学3年生の春、理由はわかりませんが、またモータースポーツをしたいと思い自動車部に入部しました。

現在は、DC2(インテグラ)に乗って活動しています。レーシングカートと違う点が多く戸惑うこともありますがとても楽しいです。

自動車部のみんなに出会えたことに感謝しつつ、今後の活動を頑張っていきたいと思っています

2015 年度 年間活動結果報告

- 4 月 ◇新入生勧誘 ⇒4/5 サークル紹介にてプロモーションビデオ上映
4/4-6 車庫前にて部車、ラリー車展示(現役部員、OB 提供)
◇体験入部(カート走行会)⇒4/25 実施。新入生5名参加。
- 5 月 ◇全九州ダートトライアル選手権大会
5 月 3 日に全九州学生ダートトライアル選手権大会がスピードパーク恋の浦で行われました。部からは団体戦に部車であるスターレットで、個人クラスには 3 年の吉岡が B2 クラスに出場しました。当日は生憎の悪天候により路面の状態が悪く、競技会は第 2 ヒート途中で打ち切られました。団体の部では残念ながらタイムオーバーで記録が残りませんでした。個人で吉岡がクラス優勝をいたしました。
◇ACK スプリングラリー主催(JAF 九州選手権第1戦、JMRC 九州 CH シリーズ第1戦)
⇒5/16-17、北九州市内にて開催。
◇新入生歓迎会 ⇒5/23 実施。
- 6 月 ◇ジムカーナ選考会兼練習会 ⇒6/ 7 スピードパーク恋の浦にて実施。
◇春季全九州学生ジムカーナ選手権大会
6 月 28 日に春季全九州学生ジムカーナ大会が行われました。部からは団体戦に SA 車両のミラーージュで出場しました。事前から大会に向けて練習をして挑んだ大会で、団体の部 第 2 位 / 9 校中 と好成績を残すことができました。また、3 年の有川がオープンクラス 2 位を獲得しました。
- 8 月 ◇全日本エコドライブチャンピオンシップ 2015(鈴鹿サーキット)
⇒8/24 鈴鹿サーキットにて。 学生クラス 8 位 / 34 チーム (詳細報告後掲)
- 9 月 ◇大学自動車部合同強化合宿(恋の浦) ⇒九大、九工大合同練習会実施。
◇部内旅行 ⇒9/ 9 宇佐、耶馬溪方面日帰りドライブ旅行実施
- 10 月 ◇秋季全九州学生ジムカーナ選手権大会
団体:2 位 / 8 校、個人;日野 B1 3 位、有川 B2 7 位、吉岡 B2 12 位、近藤 B2 21 位
10 月 11 日には秋季全九州学生ジムカーナ大会がスピードパーク恋の浦で行われました。団体戦では新しいタイヤを用意し、杉谷、平田、河本の三名が優勝を目標に出場しました。結果は団体の部 第 2 位 / 8 校中 でした。優勝した九州大学の 3 名の総合タイムにわずか 2 秒届かず、惜しくも優勝を逃しました。来年からも優勝を目標にしっかりと整備、練習をして参戦する予定です。なお、当部から 3 名の連盟委員を派出し、学連の運営に携わっています。また、選手以外の部員はオフィシャル(競技役員)として、全員が大会に参加しています。
- 11 月 ◇工大祭 ⇒11/21-22
◇第 53 回 ACK-KIT ナイトラリー(全九州学生ラリー併催)⇒11/28-29 田川郡内にて開催。
◇幹部交代
- 12 月 ◇学内マラソン大会(12/6)
- 3 月 ◇追出しコンパ
◇第 54 回 ACK-KIT ラリー(JAF 九州選手権第 1 戦、JMRC 九州 CH シリーズ第 1 戦)
⇒3/19-20 田川郡内にて開催予定。 以上

=====

2016 年度 年間活動計画

- | | |
|---|--|
| 4 月 ・新入生勧誘
・体験入部(カート走行会)
5 月 ・全九州ダートトライアル選手権大会
・ACK スプリングラリー主催(JAF 九州
選手権第 2 戦、JMRC 九州 CH シリーズ第 2
戦 5/14-15、北九州市内)
・新入生歓迎会
6 月 ・ジムカーナ選考会兼練習会
・春季全九州学生ジムカーナ選手権大会 | 8 月 ・全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016
(鈴鹿サーキット)
9 月 ・部内旅行
10 月 ・秋季全九州学生ジムカーナ選手権大会
11 月 ・工大祭
・幹部交代
12 月 ・学内マラソン大会
3 月 ・追出しコンパ
・第 55 回 ACK-KIT ラリー(3 月第 3 週予定) |
|---|--|

平成26年度工学部自動車部決算報告

26.4.1～27.3.31

収入	金額	支出	金額
前年度繰越		大会参加費	
貢善会援助金		工具代	
部費		部車維持費	
部員個人負担		車庫設備維持費	
		練習場所代	
KIT ナイトラリー		KIT ナイトラリー	
		平成27年度へ繰越	
合計		合計	

OB会部活動援助費 会計報告

九州工業大学 自動車部 会計 穴井

H26.10.1～H27.9.30

収入	金額	支出	金額
前期繰越(H26.10.1)		H26.9.21OB交流会費精算	
受取利子(H26.10.1)		競技会出場援助費(H26.10-H27.9)	
OB会部活動援助費(H26.10.5)		車庫什器(本棚、ファイルスタンド)	
OB会現役交流会費(H26.10.5)		H27.9.23現役サポート隊ラリー練習会費用	
受取利子(H27.4.1)		H27.9.26OE総会参加旅費	
OB会部活動援助費(H27.5.10)			
OB会部活動援助費(H27.10.9)		小 計	
OB総会参加旅費(H27.10.9)			
※H26.5現役会計貸付金精算		※自動車部会計へ貸付(H27.6.24)	
合計		合計	

平成27年 11月 18日
 明専・九州工大OB会現役支援担当
 山下

第53回 ACK・KIT ナイトラリー詳報

第53代ラリー委員長 杉谷(2年)



2015年11月28～29日の第53回 ACK・KIT ナイトラリーが無事に終了いたしましたので、報告させていただきます。

昨年度の ACK・KIT ナイトラリーと同じで、開催場所は田川郡赤村、添田町、大任町で移動総距離約60kmのラリーを開催させていただきました。

今年からはアベレージラリーではなく、SSラリー(第2種アベレージラリー)として開催いたしました。アベレージラリーをこれからも続けて欲しいという声もありましたが、最近のラリーがSSラリーとして行われていることや、学生戦の一つとして行われていることを考慮した結果、このような形で開催させていただくことになりました。

エントラントの方が集まるか心配しておりましたが、15台のエントラントの方が来て下さり、学生の方も増え大変嬉しく思っております。

当日は一部、路面の濡れている箇所もありましたが、晴天に恵まれ、大きな事故等もなく、無事に競技の進行をすることができました。

今回のラリーは、SSラリーに変わったこともあり、判らないところも多くありましたが、徳尾三郎さんをはじめとするACKの皆様並びにOBの皆様に全面的に協力していただき、今年も無事に開催することができました。関係者皆様に心より御礼申し上げます。

来年で第54回となります。来年は3月に地区戦としての開催を予定しております。場所は今回と同じか小倉南区の貫山線を予定しております。今年の反省を生かしつつ、皆様に満足していただけるようなラリーを作りたいと思っておりますので、今後とも皆様どうぞよろしくお願い致します。

全日本エコドライブチャンピオンシップ 2015 の参加報告

近藤(2年)

2015年8月24日(月)に鈴鹿サーキットにて開催された全日本エコドライブチャンピオンシップ2015に参加してきました。参加メンバーは坂元(4年生)、吉岡・有川(3年生)、近藤・河本(2年生)の5名です。

今年も競技内容に大きな変更はなく、ドライバーとナビゲータの二人一組でサーキット、チャレンジ、テクニカルの全3ラウンドをそれぞれ別の車種で走行し、燃費(電費)とタイムの合計ポイントによって順位を競いました。

第1ラウンド:サーキットラウンド

車両:トヨタ アクア

ドライバー:有川 ナビゲータ:近藤

メインストレートにてル・マン式スタートにてスタートし、サーキットの本コースを走り6周目でピットイン、ピットガレージに入ったところでゴールでした。

結果は59チーム中47位でした。



第2ラウンド:テクニカルラウンド

車両:日産 リーフ

ドライバー:吉岡 ナビゲータ:近藤

本コースを走り2周目でピットレーンに入り、パドック内に設置された5つのチェックポイントにて課題をクリアした後、ピットガレージに入ったところでゴールでした。チェックポイントでは、1.空気圧チェック 2.記念撮影 3.車庫入れ 4.ボックス 5.幅寄せ を行いました。

結果は59チーム中5位でした。



第3ラウンド:チャレンジラップラウンド

車両:ホンダ CR-Z

ドライバー:河本 ナビゲータ:近藤

本コースを走り6周目でピットレーンに入り、ゴールでした。

結果は59チーム中45位でした。



以上3ラウンドの合計ポイントにより、総合順位は59チーム中20位、学生自動車部クラス順位は34チーム中8位でした。

競技終了後には片山右京さんのトークショーが行われ、今回の大会について振り返るとともに、興味深いお話を聞くことができました。

今回の全日本エコドライブチャンピオンシップの参加にあたり、OB会よりいただいた援助金を大切にに使わせていただきました。ありがとうございました。OBの方々をはじめとする自動車部の皆様の協力のおかげで参加することのできた今回のエコドライブチャンピオンシップでの経験を活かし、運転技術の向上に努めてゆきたいと思えます。

～アベレージラリー練習会～

現役交流担当 山下(H1)

去る 2015 年 9 月 23 日(日)、OB 会現役支援サポート隊と現役部員によるアベレージラリー練習会を行ないました。

近年、九州地区で行われる JAF 公認ラリー競技会は、スペシャルステージ(SS)主体の競技会が主流になり、競技中にアベレージ走行でチェックインすることは殆んどなくなっていました。KIT ナイトラリーも本年から SS 主体の競技会にシフトすることもあり、現役自動車部員にアベレージラリーの基本を引き継ぐ目的で今回の練習会を企画しました。

当日は現役部員 7 名(4 年日野、3 年吉岡、3 年平田、3 年杉谷、3 年有川、2 年河本、2 年近藤)と OB(現役支援サポート隊)5 名(H1 山下、H17 犬丸、H18 石丸、H22 北垣、H23 岩本)の計 12 名が参加しました。

まず、ラリー用語およびナビゲーターの作業内容を座学で学んだ後、OB・現役の混成チーム 4 チームに分かれ、指示書・コマ図のスタート前整理のやり方を実際の手帳を用いて、OB より指導しました。

ラリーは、OMCP 処理のやり方から始まり、目標物パソコンでのアップダウン、オンタイム走行でのチェックインの仕方、申告チェックポイントでの申告時刻の出し方などを体験できるような内容としました。ラリーコンピューターを使うことを前提に競技設定していたため、ラリーコンが無かったチームには厳しかったようですが車内での OB の指導の成果か、全車無事ゴールすることが出来ました。

ゴール後、工大前の“みやび”で昼食をとり、表彰および反省会を行ないました。

OB 会現役支援サポート隊では今後も OB・現役が楽しめるイベントを企画していきたいと思っています。次回はフィギュア競技会を企画した

と考えております。「昔取った杵柄」で、我こそは！という OB の皆様の多数のご参加をお持ちしております。

今回の概要は、以下の通りです。

【アベレージラリー練習会】

1. 日 時 平成 27 年 9 月 23 日(日)
9 時 00 分～15 時 00 分
2. 走行区間、距離; 九工大→響灘エコタウン
→ハザマ峠→高塔山→九工大 約 50 km
1 ステージ、5CP(内、申告 CP1箇所)
3. 参加台数 4 台

(参加者)

(OB 会現役支援サポート隊)

山下(H1)、犬丸(H17)、石丸(H18)、北垣(H22)、岩本(H23)

(現役)

日野(4 年)、吉岡(3 年)、平田(3 年)、杉谷(3 年)、有川(3 年)、河本(2 年)、近藤(2 年)

現役交流担当より物品援助のお願い

下記の物品について、不要な物がございましたらお譲りください。

・フィギュア練習用車両(小型乗用(5 ナンバー)、普通乗用(3 ナンバー)、小型貨物(2t 車))

※廃車済みでも、廃車予定でも構いません。

・折り畳みテーブル(会議用)

・プロジェクター又は液晶モニター・テレビ(30 型～)

・ホワイトボードまたは黒板

・整備用工具類 など。

連絡先: 現役交流担当 山下(H1 年)

現役支援サポート隊の取り組みについて

－H26年10月～H27年9月実績－

H27年9月26日

OB会 現役交流担当 山下

1. 今期の計画および実績

① KIT Night Rally 準備の支援(H26年8月～H26年11月)

・コースおよび問題の監修

⇒コース試走、問題監修(H24 石原、H23 岩本、H22 北垣、H1 山下)

⇒印刷物確認、大会準備フォロー

(S59 小川、H3 福田、H24 石原、H23 岩本、H22 北垣、H25 八尋、H1 山下)

・官公庁届出対応

⇒赤村役場、添田町役場申請同行(S59 小川、H1 山下)

⇒田川警察署申請同行(S59 小川、H1 山下)

② KIT Night Rally 当日支援(H26年11月8日～9日)

※OB 出席者:S54 坂田、S54 山下、S58 高橋、S59 小川、H3 福田、H17 大庭、H17 犬丸、H18 石丸、
H24 石原、H23 岩本、H22 北垣、H25 八尋、H1 山下

・事前案内(10月初旬)

⇒連絡希望登録者へのメール配信(山下)

・募集 (10月下旬)

⇒連絡希望登録者へのメール配信(山下)

・最終確認とスケジュール連絡

⇒電話連絡(現役部員)

③ 競技参加支援

・活動援助金制度の運用(H26年7月より運用開始)

⇒H26年10月12日 全九州学生ジムカーナ選手権大会(選手・応援者計16名)

⇒H26年12月13～14日 九州フェスティバル (H9 森若/大久保、H22 北垣/桑原、渡部/日野、
杉谷/坂元、穴井/近藤、漆原/近藤、平田/吉岡、河本)

⇒H27年3月22日 FMSCチャレンジラリー (H1 山下/今門、河本/近藤)

⇒H27年5月3日 全九州学生ダートトライアル選手権大会(選手・応援者計13名)

⇒H27年5月24日 九州ダートトライアル Jr シリーズ第2戦 DESIRE(吉岡)

⇒H27年6月7日 九州ジムカーナ Jr シリーズ第4戦 T-XT(杉谷、河本、日野)

⇒H27年6月21日 九州ダートトライアル Jr シリーズ第3戦 RASCAL(吉岡)

⇒H27年7月11-12日 九州ラリー選手権第3戦 FMSC(Nv.穴井)

⇒H27年8月24日 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2015(選手・応援者計6名)

⇒H27年9月13日 九州ダートトライアル Jr シリーズ第4戦(吉岡)

④ ラリー啓発

・部内ラリーの開催

⇒H27年9月23日アベレージラリー練習会実施。

若松方面 約50km、5CP。参加車両:4台。

参加者:(OB)H1 山下、H17 犬丸、H18 石丸、H22 北垣、H23 岩本

(現役)4年日野、3年吉岡、3年平田、3年杉谷、3年有川、2年河本、2年近藤

・ナビ講習

⇒上記アベレージラリー練習会の出発前に、ナビゲーター講習実施。
また、ラリー中に OB 部員による OJT を実施。

⑤ 日常練習の活性化

・フィギュア練習の指導

⇒今期末実施。

⑥ 親睦行事

・餅つき会 (H26 年 12 月 30 日)

⇒OB 出席者; H24 石原、H22 北垣、H1 山下

⑦ 卒業生のフォロー

・追出しコンパ

⇒H27 年 3 月 7 日、対象者; 渡辺 (修士)

・卒業後の連絡先の把握

⇒対象者; 渡辺 (修士)

⇒平成 10 年台～の卒業生の連絡先調査を実施し、名簿担当者に連絡 (H26 年 10 月)

⑧ 休眠 OB の掘起し

・活動実績の送付 (メール)

⇒今期末実施。

⑨ 新入生勧誘のフォロー

・展示車両の手配、貸し出し。

⇒OB 部員提供のラリー車の展示を実施
(H27 年 4 月 4-6 日)。

H17 犬丸 (マツダ デミオ)、

H18 石丸 (三菱 ランサー-EVOVII)



2. 来期の支援サポート計画 (H27 年 10 月～H28 年 9 月)

① 第 53 回 KIT Night Rally 準備の支援

(H27 年 8 月～H27 年 11 月)

・コースおよび問題の監修

・官公庁届出対応

② 第 53 回 KIT Night Rally 当日支援 (H27

年 11 月 28 日～29 日)

・事前案内 (10 月中旬)

・募集 (11 月上旬)

・最終確認とスケジュール連絡 ↗

③ 第 54 回 KIT Night Rally 準備の支援

(H27 年 12 月～H28 年 3 月)

・コースおよび問題の監修

・官公庁届出対応

④ 第 54 回 KIT Night Rally 当日支援 (H28

年 3 月 19 日～20 日)

・事前案内 (1 月下旬)

・募集 (2 月下旬)

・最終確認とスケジュール連絡

⑤ 競技参加支援

・活動援助金制度の運用の継続

平成 27 年度活動報告(H26/10-H27/9)

OB 会 事務局 中西(50)

【上期活動実績】(OB会員敬称略)

平成26年

10/5 :部活動援助費送金⇒OB会会計から(武地)

10/5 :現役交流会費送金⇒OB会会計から(武地)

10/29 :【メール役員会】「平成26年度活動・会計報告/平成27年度活動計画(案)・
会計予算(案)の審議及び現役支援活動報告の件」

11/8-9 :第52回KITナイトラリー現役支援(JMRC九州ラリーチャレンジシリーズ第7戦)
(坂田s54、山下(能)s54、高橋s58、小川s59、山下(利)h1、福田h3、大庭h17、
犬丸h17、石丸h18、北垣h22、岩本h23、石原h24、八尋h25、計13名)

12/6 :【平成27年(第8回)OB会総会】(関東地区主催)第2回実行委員会開催(鳳龍クラブ)
(宮崎s39、佐藤s46、中西s50、武地s51、坂井s52、早田s54、近藤s54、
松本h14、計8名)

12/15 :流星26号発行(武地)

12/30 :餅つき会(現役との交流)(山下h1、北垣h22、石原h24、計3名)

平成27年

1/31 :【平成27年(第8回)OB会総会】(関東地区主催)第3回実行委員会開催(鳳龍クラブ)
(木村s36、佐伯s36、門司s37、宮崎s39、佐藤s46、中野s46、
中西s50、武地s51、坂井s52、早田s54、近藤s54、松本h14、計12名)

3/28 :【平成27年(第8回)OB会総会】(関東地区主催)第4回実行委員会開催(鳳龍クラブ)
(門司s37、宮崎s39、佐藤s46、中西s50、武地s51、坂井s52、早田s54、近藤s54、
松本h14、計9名)

【下期活動実績】(OB会員敬称略)

平成27年

4/4 :関西地区部会・懇親会(中原s39、橘s40、木庭s43、田中s45、小泉s48、山崎s49、孝橋s55、計7名)

4/8 :【メール役員会】「平成27年度活動報告(上期)、会計報告(上期)及び現役支援活動・
支援金決算報告(上期)の件」

5/10 :部活動援助費送金⇒OB会会計から(武地)

5/16-17:ACKスプリングラリー2015/JAF九州ラリー選手権第1戦開催にOB・現役運営参画

8/1 :【平成27年(第8回)OB会総会】(関東地区主催)第5回実行委員会(最終)開催(鳳龍クラブ)
(木村s36、宮崎s39、中西s50、坂井s52、早田s54、榎本s54、松本h14、計7名)

8/17:【メール役員会(総会前事前①)】「役員人事及び会則改正に関する審議の件」

8/21:【メール役員会(総会前事前②)】「前期(H26年度期末)のメール役員会で”残された課題2件”に
関する審議の件」

9/1 :【メール役員会(総会前事前②-1)】「平成28年度予算(案)に関わるOB会総会・
現役顧問招待に関する審議の件」

9/26 :【総会前役員会】”定例総会時役員会審議事項一覧”による

9/26-27 :【平成27年(第8回)OB会総会(於 熱海)】開催(関東地区主催) 以上

平成 28 年度活動計画 (H27/10-H28/9)

OB会 事務局 中西 彰(加 50)

【上期】(OB 会員敬称略)

平成 27 年

10/上 :【メール役員会】「平成 27 年度現役支援活動・支援金決算報告の件」

10/上 :部活動援助費送金⇒OB 会会計から(武地)

11/28-29 :第 53 回 KIT ナイトラリー現役支援 (JMRC 九州ラリーチャレンジシリーズ第7戦)

12/下 :関東地区部会・忘年会開催

12/中 :流星 27 号発行(武地)

12/30 :餅つき会(現役との交流)

平成 28 年

3/19-20 :第 54 回 KIT ナイトラリー現役支援 (JMRC 九州ラリーチャレンジシリーズ)

【下期】(OB 会員敬称略)

4/上 :【メール役員会】「平成 28 年度活動報告(上期)、会計報告(上期)及び現役支援活動・支援金決算報告(上期)の件」

4/上 :部活動援助費上期分(H27.10.1~H28.3.31 カンパ分)一括送金

4/上~9/下 :現役との交流会費拠出⇒OB 会会計から(武地)

9/上~9/下 :現役との交流会開催

OB 会 27年度会計報告

OB 会 会計 武地(51)

下表のとおり平成 27年度会計報告が、メール委員会にて平成27年 11 月 2 日に承認されました。

平成27年10月メール役員会

平成27年9月30日

OB会会計 武地

平成27年度決算報告

--	--

H26. 10. 1~27. 9. 30

収入	金額	支出	金額	H27/9/26報告 からの変動
前期繰越		振替手数料		
会費		現役交流費		
部活動援助費		流星26号印刷費		
OB会カンパ		同 郵送代		
		事務費、通信費		
		部活動援助費		
		27年度OB会総会準備費		
		現役総会参加旅費補助		
		次期繰越		
合計				合計

平成28年度OB会 予算

以下の予算案が、OB会総会にて平成27年9月26日に承認されました。

平成27年9月26役員会/総会資料

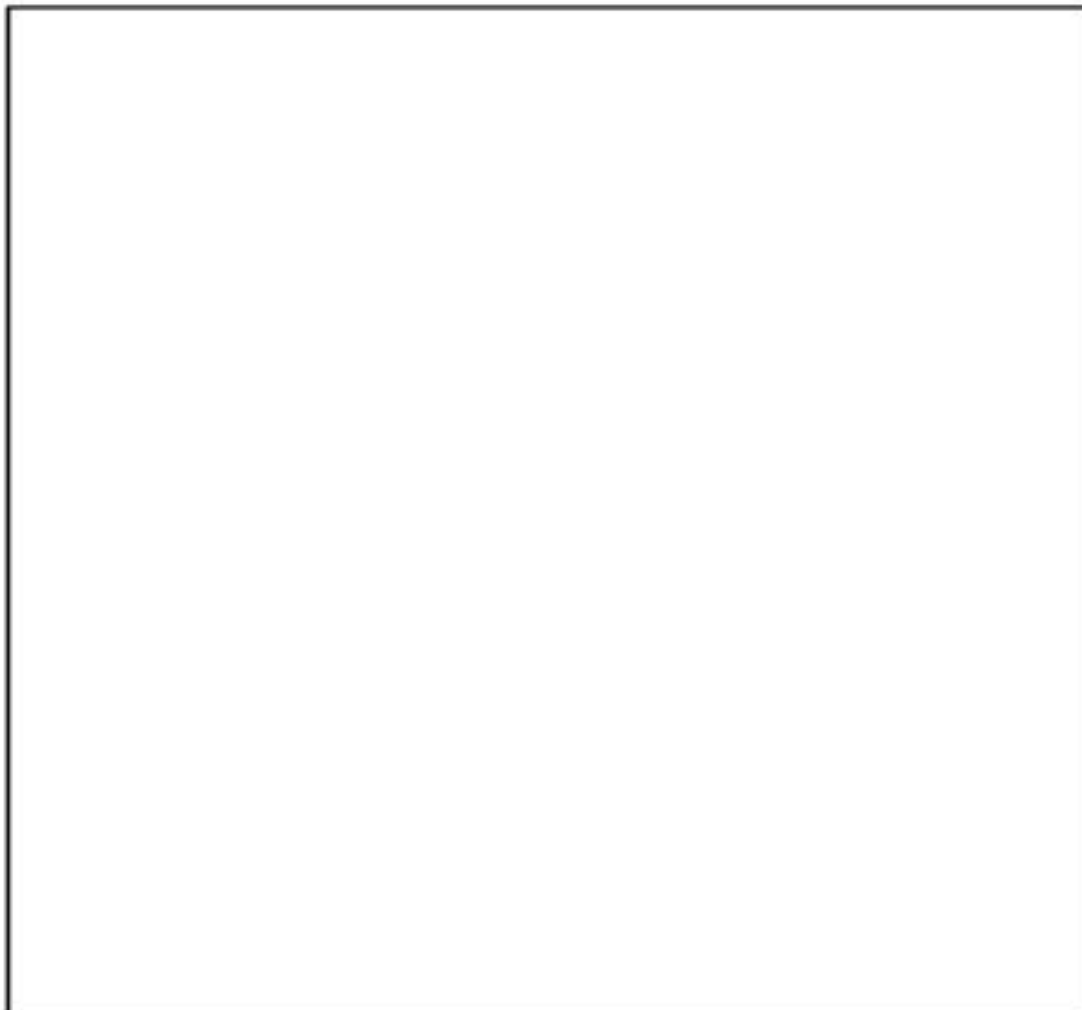
平成27年9月26日
OB会会計 武地

平成28年度予算（承認済） 平成27年10月1日～平成28年9月30日

行事
平成27年12月 流星27号発行
平成28年9月 OB/現役交流会

		(円)	
収入	金額	支出	金額
27年度繰越		振替手数料	
会費		現役交流費	
現役部活動援助費		流星印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		〔費用小計〕	
		28年度への繰越	
小計		小計	

繰越額増加



OB会 会費、部活動援助費、OB会カンパ振込状況

皆様のご理解ご協力にお礼申し上げます。OB会費は、2年に一度です。その他は毎年募集します。
注;会費欄に「支払い済み」と記載は、26年度にお支払いいただいた事を示す。

平成27年度 会費、部活動援助費、OB会カンパ振り込み名簿								平成27年9月30日	
No	口座月日	科	年	氏名	会費	部活動援助費	OB会へ	合計	備考
1	2014/10/30		H12	陸和					
2	2014/11/21		47	川越					
3	2014/12/22		59	大井					
4	2014/12/22		39	中原					
5	2014/12/22		H13	山ノ内					
6	2014/12/22		57	尾辻					
7	2014/12/24		46	鞍馬					
8	2014/12/24		23	青木					
9	2014/12/24		38	大塚					
10	2014/12/24		45	八木					
11	2014/12/24		43	宇塚					
12	2014/12/24		48	平松					
13	2014/12/24		52	坂井					
14	2014/12/24		55	松元					
15	2014/12/25		62	真羽					
16	2014/12/26		55	光成					
17	2014/12/26		H6	陸和					
18			30	中島					
19			54	早田					
20			35	山口					
21			50	溝田					
22	2014/12/29		51	白倉					
23			46	鎌川					
24			48	小泉					
25	2015/1/2		46	山本					
26	2015/1/5		25	松本					
27	2015/1/6		50	中西					
28	2015/1/7		58	高橋					
29	2015/1/13		45	坂本					
30			52	安水					
31	2015/1/14		44	松原					
32	2015/1/16		31	古場					
33	2015/1/20		H17	大丸					
34	2015/1/28		54	石野					
35	2015/1/31		55	津橋					
36	2015/2/2		50	首藤					
37	2015/2/5		36	藤田					
38	2015/2/18		29	藤田					
39	2015/3/6		48	高見					
40	2015/3/9		51	武地					
41	2015/3/10		56	大塚					
42	2015/3/27		33	高村					
43	2015/4/14		H8	谷口					
44	2015/4/21		43	木原					
45	2015/4/23		50	西裕					
46	2015/5/18		45	田中					
47	2015/5/28		41	西崎					
48	2015/6/2		H14	藤田					
届込者数48人		小計							
					会費	部活動援助費	OB会へ	合計	

会計監査報告

会計監査 田中(45)

会計監査報告書

平成27年10月18日

明専・九州工大自動車部OB会
会長 木村 [] 殿

平成27年10月18日 明専・九州工大自動車部OB会 会計に関する
帳票・領収書などを精査しました。その結果平成27年度の
決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監査 田中 [] []

—特別企画 ;第8回 OB 会総会特集—

平成27年自動車部OB会総会報告まとめ

関東地区 総会準備委員会 事務局 早田(54)



まずは、企画した内容は実施でき、それなりに
楽しめ、無事に総会が終了したことに対して、企
画及び参加された方へ感謝申し上げます。

前回中部地区で企画された「新城ラリー観戦」
に刺激を受け、今回も、自動車部らしくというこ
とで、土曜日にラリー、日曜日にカートを盛り込む
こととなりました。スカベンジャーラリーは、3カ所
のコース(那須塩原、山中湖河口湖、箱根熱海)

を検討しましたが、所要時間、宿泊先の利便性
から箱根熱海に決定しました。私のホームグラ
ンドでもあり、地図作りからいろいろなネタを考
えましたが、時間をかけず、コマ地図なし、指示
速度なしという全くラリーらしくないものとなり、反
省しております。ただ、参加メンバーの懇親を深
めることはできたかと思えます。カートについ
ては、松本くんが、企画から孤軍奮闘で、参加者
多数、年齢の幅も広く、全員が楽しむことができ

ました。次回も、是非、自動車部らしい企画を盛り込んで頂きたいと思います。

総会準備委員会の事務局としての反省点、苦労点は、いくつかありましたので、今後の参考になればと思い、記載いたします。

①下打合せの開催と会場の確保について。初期は、準備委員の全員が集まる日時は、打ち合わせ場所となる新橋の鳳龍倶楽部が空いておらず、有料会議室を使用することとなりました。それ以降の委員会の開催は、鳳龍倶楽部の空き時間に合わせて、参加できる方で進めることとし、メンバーの協力で何とか、進めることができましたが、もっと全体スケジュールをしっかりと決める必要があったと反省しています。

②参加者が思ったように増えない、または、連絡取れない人が多すぎることです。今回、目標とする参加者数は40名としましたが、結果的に

は30名程度に終わりました。また、参加者の方は、ほぼ、例年、参加している方が多数で、若手の参加は少ない結果となりました。また、年配者からは、参加が厳しいとの連絡も多数いただきました。役員会でも一部、議論となりましたが、やはり名簿の管理と過去の情報を整理し、連絡の充実が必要だと感じます。特に、若手の連絡網が不十分なので各年代でのキーマンを決定し、連絡網を確立する必要があると思います。③最後に関東地区としての活動です。総会準備を見据えて、毎年一度、顔を合わせる懇親会を行っていました。そのおかげで若手の参加と準備委員は、スムーズに立ち上げることができましたが、それ以上の参加は望めませんでした。また、総会の準備と並行して、幹事長、副幹事長のあり方、考え方についても、議論ができたことはよかったかと思います。了

「関東地区開催の OB 会総会」を終えて

関東地区 副幹事 坂井(52)

久し振りに KITAC の名を背負った活動に携われて楽しかった。

先輩同輩後輩と世代を跨いで意見を出し合いながら一年程前から準備にいそしみ、当日参加下さる諸兄が歓びワクワク楽しむ顔を思い描きながら、準備活動を楽しむ事が出来た。

(OB 会としては初めてだと思うが、)スカベン・ゲーム Rally も企画し、2 次会・夜の明トラ大会明け日曜の出し物としては KART 大会も開催でき、皆さんに楽しんでもらえたと思っています。

OB 会総会開催準備・運営の中で一番強く思ったのは、会員を各年次ごとに絶えることなく連綿と確保する事である。各地区での掘り起こしを強化するのは必須なのはもちろん、KITAC 卒業と同時に OB 会名簿に登録し連絡を逐次取れる状態にしておく事を務められるよう望みます。

最後に、この誌面をお借りして、参加頂いた諸兄の方々、ならびに一緒に準備に汗を流した皆様へ感謝申し上げます。また、次回を愉しみしております。

【参考;平成 27 年自動車部 OB 会総会 イベント概要】

- ① スカベンジャーラリー;9月 26 日 12 時-16 時、コース;足柄、箱根、熱海。参加車両;5 台、参加者 16 名
- ② 役員会;同日 16:30~ @KKR ホテル熱海
- ③ 総会、懇親会;同日 18:00~、参加者 35 名 @同上
- ④ 二次会、明トラ大会;同日 21:00~ @同上
- ⑤ カート大会;9 月 27 日(日)、10:00~、参加者 18 名 @湘南シーサイド GP

OB 総会開催の準備作業を振り返って

関東地区 総会準備委員 佐藤(46)

46 卒業の佐藤です。現在、国土交通省の所管の研究所で仕事をしています。自動車関係で 20 年程、安全関係の試験・研究を担当した後、現在は、鉄道関係で安全に関する試験・研究を行っております。2015 年は、鉄道関係で 4 年に一度の大きな国際会議が開催されるなど、非常に忙しい年になりました。さらに、想定外として、1 月に鉄道関係の事故が発生し、その調査の責任者として、現地調査、走行試験調査、シミュレーション検討、報告書の作成などで、四苦八苦することになりました。一方、OB 会総会の開催へ向けて準備作業を行うということで、今から思えば、無事に総会を終えることができ、ほっとしているところです。私は、以下 4 つを担当しました。

(1) 宿泊関係

最初の準備会での役割分担の際に、宿泊関係を担当することになり、宿泊のホテルの選定のために、小田原、熱海などの候補のホテルを、中野悟さん(電子 46)の協力を得て調査して資料を作成しました。しかし、調査の過程で、実際に泊まってみることが重要と思い、候補のホテル(KKRホテル熱海)に家内を連れて宿泊しました。これは久しぶりの家族旅行となり、家内に喜ばれました。温泉はかけ流しできれいで広く、露天風呂もあり、部屋も 10 畳ほどで広く、宴会場も「椅子タイプ」か「畳に座るタイプ」を選べるなどがわかりました。

さらに、私が共済組合の会員で、全員が組合員価格での宿泊適用になることがわかり、ここなら推薦できると思いました。結果的に、KKR ホテル熱海での開催となりましたが、三現主義で調査しておいて良かったと思っています。

(2) 部屋割り・宴会座席表作成

部屋数についてホテル側と粘り強く交渉しました。ホテル側は参加人数から9部屋になるとのことでしたが、二次会用の1部屋追加してもらえるように提言。「そこを何とか」と粘っているうちに、検討してもらえることになり、最終的に、「わかりました。無料で1部屋追加しましょう」と言ってもらえました。交渉ごとは、必ずしもうまくいくとは限りませんが、粘り強く行って良

かったと思っています。

また、宴会座席は、ランダムサンプリングの手法で、司会者など以外は「あみだくじ」で座席を決定。

(3) 総会資料の印刷

総会当日の段取りを考慮して、総会資料の印刷は、当方で担当することになりました。事前に細かい検討をしておいて良かったと思います。

総会開催日の2~3週間前に、事務局長の早田洋一さん(電子 54)と当日の役割分担などの打ち合わせをし、私と坂井典次さん(機械 52)で「受付」を担当。総会資料をいつ受け取るかが問題になりましたが、総会資料は、早田さんが Google ドライブ に共有フォルダーを作り、そこに関係者が総会資料をアップロードするとともに、内容をチェックして、最終資料とすることになりました。

当方は、100 円ショップで、封筒、ラベルシートと印刷用紙を購入。ラベルシートに参加者の名前を印字し、そのラベルを封筒に貼って準備しました。また、開催日直前の休日に総会資料をダウンロードして、無事に参加者分の資料を印刷できました。

(4) 散策資料作成

イベントの一つの「熱海近隣の散策資料の作成」は、結構時間のかかるやっかいな作業でしたが、担当してみると、熱海近隣の地理などよくわかりました。まず考えたことは、散策資料として何が重要かということです。散策する観光地もさることながら、足(交通機関)をどうするかが重要です。そこで、3つの交通機関(市営バス、観光バス、観光タクシー)の現況と、散策できる観光地を調査するとともに、その結果をまとめて資料にしました。分かりやすい資料になったのではないかと思います。

冒頭にも記載しましたが、無事に総会を終え、ほっとするとともに、あっという間の9か月だったと思います。以上を次回の参考にしていただければ幸いです。総会の準備作業を担当された皆様、お疲れ様でした。また、総会に参加していただいた多くの皆様には厚くお礼申し上げます。九工大自動車部 OB 会の益々の発展をお祈りして終わりと致します。了

OB 会総会に参加して

主将 吉岡(3 回生 3 年)

現在、自動車部では北九州市近辺に在住されているOBの方々は、ラリー主催の際のオフシャルから日々の部活動まで様々なところでご援助・ご指導をして頂いておりますが、遠方のOBの方とは、疎遠になってしまっているのが現状だと感じています。今回、OB 総会が行われる熱海まで行きOBの皆様と交流できてとても良かったと思っています。

会場での懇親会では現役の活動内容を報告すると共に、OB の皆様の現役時代の話がたくさん聞かせて頂き、貴重な体験ができました。

カート大会ではOB の皆様と一緒にカートで親睦を深めました。僕はカートはあまり得意ではないのですが、OB の方にとっても速い方がいて、僕はそれについていくことが出来ませんでした。最後に 45 分耐久をやりましたが、OB の方と一緒にチームとしてレースができたのはとても面白

かったです。僕たち現役も必死になってレースに熱中していました。

僕たちは熱海からの帰路は、2 回生の金粕が今回 OB の方からの紹介で購入した車を受け取り、その車で帰ることになっていたのですが、その際、OB の方々が現役のころの部内旅行の体験の話の話を聞いたり、どの道がどのくらい混むかなどの情報をいただいたりしました。知らない情報や、興味深い話ばかりだったので、そういった所でも現役とOB の交流の重要性を思い知りました。

今、現役も大会などで好成績をとれるようになってきて、次々と新しい目標ができています。こういった現状や成績をOB の皆様に報告できる場はとても貴重なので今回、このOB 総会に出席させていただきありがとうございました。

今後とも現役へのご支援、ご協力お願いいたします。了

=====

主務・OB 担当 平田(3 回生 2 年)

当日、会場でOB の皆さまとお会いするまでは非常に緊張していました。それは遠方のOB の方々とお会いする機会は非常に少なく、自分がうまく現役自動車部の現状を説明できるのが不安だったからです。しかし、会場でのOB の皆様の温かい歓迎により、緊張がほぐれました。

会場ではスライドを使った現役自動車部の活動内容を報告いたしましたが、OB の皆様に現役の現状を知っていただく貴重な機会になったと思います。私も今の自動車部が参戦している

学連やJAF 競技などの成績を報告でき、とても嬉しかったです。

そして、二日目のカート交流会ではOB の皆様と一緒にカートで走ることができ、親睦を深めることが出来ました。OB の皆様の運転技術はとても参考になり、自分の技術を見直すこともできました。

現役と遠方のOB の皆さまが交流できる機会は少ないですが、この度、現役とOB の皆さまが情報交換や親睦を深める機会というのはとても大切なものだと感じました。了

=====

スカベンジャー ラリー



9月26日12:00に新幹線の小田原駅前に参加者が集合(写真上)。16人。遠くは北九州から坂田さんや関西からの山崎さんも。車は、関東地区の皆さんが提供。ケータハムスーパー7、インプレッサ、STi、S2000、エルグランド、アウトランダーPHEVなど多士済々。指示書は、チェックポイントと課題が書いてあるだけでコマ図もない。さすがは、ナビゲーションが発達した世のスーパーラリーだ。指示速もない。各チェック間の所要時間を計算し、提出するのだがどうやって計算するの？出たところ勝負？まあいいか。コースは、小田原駅前をスタート後に南足柄市大雄山最乗寺方面へ。途中にある茶店「天んぐ」が第一チェックポイント(CP)(写真下)。



課題は、名物の饅頭の名前。お店に入ると4種類の饅頭や餅の試食をさせてくれる。お茶まで出る大サービスに負けて、ついお饅頭一箱を買った。近くに行ってみる機会が有ればぜひ立ち寄ると面白い。

その後、ラリー車は足柄街道へ。第二CPは、足

柄関所跡。足柄峠は曲がりくねった山岳ターマックで各コーナーにタイヤマークが残っていた。地元の走り屋さん気をつけて走ってね！課題は、関所跡で写真を撮る事(写真下左)。



富士山展望に絶好の誓いの丘(当日富士山は雲の中)で写真(上右)を撮り、第三CPは金時(公時)神社で重い物=金太郎の鍬の写真。続いて各車は箱根の湖尻を經由して芦ノ湖スカイラインで第四CP。芦ノ湖をバックにした絶景写真撮影の指示。ラリー区間のゴールは十国峠レストハウスの駐車場でした。

ラリー結果;1位:永渕、香川スーパー7チーム





2015 KITAC Kart GP in 湘南 決勝 40 分耐久レース結果 2015/9/27 12:06

予選結果

順位	名前	ラップ(sec)
1	小川	28.184
2	香川	28.274
3	平田	28.895
4	松本	29.776
5	坂田	30.386
6	津曲	30.864
7	吉岡	30.973
8	三原	31.262
9	坂井	31.499
10	太田	31.943
11	中西	32.098
12	山下	32.511
13	早田	33.546
14	榎本	33.956
15	武地	34.309
16	永田	34.812
17	近藤	37.402
18	西	39.844

平均 32.252
中央値 31.721
標準偏差 3.049

結果									
Cat.	P.	PCA T	N.	ドライバー	タイム	L.	Best L.	ラップ	Gap
N35-S	1	1	6	グリーン	0:38:46,278	74	28,235	58	-
N35-S	2	2	3	ブルー	0:39:12,052	74	27,431	59	+ 25.774
N35-S	3	3	2	レッド	--	73	27,670	5	+1 lap/s
N35-S	4	4	1	ホワイト	--	71	28,449	67	+3 lap/s
N35-S	5	5	8	ブラック	--	70	29,117	22	+4 lap/s
N35-S	6	6	7	イエロー	--	65	27,946	56	+9 lap/s

1. 小川(63) 予選 1 位が…。

今回のOB総会で、僕が最も楽しみにしていたイベントが日曜日のカート大会でした。

会社の近くにサーキットがあって、昨年くらいから会社の仲間とちょくちょくレンタルカートに乗っていました。しかも、今回のイベントで乗るカートと同じ型のカート。OBの皆さんはそうそうカートに乗る機会は無いですから、気持ち良く諸先輩方をぶっちぎる予定でした。事前に動画サイトで湘南シーサイドGP(今回のサーキット)のコースもバッチリ頭に入れて、予選、決勝と余裕の優勝をイメージしてOB会に向かいました。

イベントの説明を聞くと、どうもコースが僕が予習してきたロングコースではなく、ショートコースとの事。また、決勝レースは個人戦ではなく団体戦とのこと。ちょっとガッカリしましたが、まあ、団体戦も楽しそうなのでOKです。

予選は、まあ、勝手知ったるレンタルカート、年配の諸先輩方はともかく、若い人たちが運転の仕方を飲み込む前に予選も終了。いまいちク

リアラップが少なかったですが、一応、予定通り、予選1位で通過しました。

と、ここまでが予選のコメントです。決勝の組み合わせは、予選の順番が1-2-3-4-5-6だとすると、1位と4位、2位と5位、3位と6位という様な組み合わせ方。速さを均等にするには1位と6位、2位と5位、3位と4位を組み合わせた方が良いのですが、予選1位だった僕としてはシメシメと思いながら決勝も優勝を確信したのでした。

決勝はいざ蓋をあけるとゴールした時はなぜか3位。。思ったように行かないのがレース。

理由は、多分、早田先輩がご存知だと思います。。。コーナリング中にサインを出した私が悪かったです。ゴメンナサイ。早田先輩！



編集者注;右上に予選結果を表示。各選手のベストラップ。偏差値1σを超えたのは上位3名。



2. 松本(H14) OB会参加の壁

若輩者ながら今回のOB総会では、準備委員の一員として参加させて頂きました。

当初より懸念はしていたものの、20代、30代の参加は僅か。若者の参加が少ない理由として、『時間が無い』、『同世代のメンバーが参加しない』と言った事が挙げられるかと思えます。しかし、その原因の一つに『意識の高い人たちのコミュニティへ参加する事の難しさ』が有るのではないかと考えています。自分自身と意識レベルの違う方々のコミュニティに参加すると、参加する側も受け入れる側も多かれ少なかれ居心地の悪さを感じてしまうものです。

今回、私はカート大会の企画、運営の役目を仰

せつかり、自身のOB会イベントへの参加のハードルがグッと低くなりました。これは偏に私自身がそのコミュニティでの居場所を見つけたからに他なら無いと思えます。

間違いなく、自動車部OB会という素晴らしいコミュニティを通してしか知り合う事が出来ないであろう、各種方面で活躍されている一流の諸先輩方。そういった方々との世代、業種の垣根を越えた交流の場として、自分自身の成長の肥やしとなる場として、自動車部OB会のイベントを捉え活用出来れば、更に若い世代も活気付いてくるのでは、そう感じています。

カート大会優勝コメント

今回は、私が企画/準備を任せて頂いた大会で『見事優勝』!!を手にする事ができました。

企画当初から、試走にも出向き、準備万端、勝つ気満々で居たのですが、やはり自動車部のOBは皆ツワモノ揃い、また一流の人が溢れていました。予選～決勝を通してトップタイムには遠く及ばず。レースに勝って、勝負に負けた。そん

な大会でした。

またこの様なイベントが開催される事が有れば、PP、FL、そしてレースでの優勝と完全制覇を目指して頑張ります!

まずはダイエット、ダイエット…。



多様化への夢

関東地区幹事 37門司

現役の自動車部員数が少ないという話を聞く、価値観の多様化、人と自動車との関係が半世紀前と全く違っているのだろう。

自動車部の歴史を振り返って見ると、1960年の全日本学生自動車連盟加入が大きな転機であったことがわかる※。その後、ラリー、フィギュア、ダートトライアル、ジムカーナなどモータースポーツに特化していったようである。

最近の「流星」の新入生挨拶を拝見すると自動車への興味、運転の楽しみが主流なのは当然としても、構造、整備など工業大学らしいことをやってみたくてと声もある。それにはどのように応えているのだろうか？

電気自動車、自動運転技術、ソーラーカーなどへの関心はないのだろうか？

社会との関わりでは、部車のトラックによる引越しのバイトなどは今では考えられないだろうが、朝日新聞厚生文化事業団と組んで筑豊地区の福祉施設を慰問に回った記憶がある。当時はなかったが、最近は福祉車両を運転するボランティアのニーズがありそうである。交通遺児育英会事業の手伝いはできないか？ 等々老人の夢は尽きない。

どうか、自動車を媒体として、学生らしく多様性を追求して欲しい。

※注：1960年前後の自動車部については、「流星」第23号の小生の寄稿を参照ください。

次回総会開催宣言(参加募集)

関西地区幹事 山崎(49)

今回は関東地区の皆さまのお陰で従来の総会に加えスカベンジャーラリーやカート大会も実施され盛り沢山の内容を整然と運営頂き、関東地区の皆様には心より御礼申し上げます。流石に人材豊富な関東地区であるなど、皆さまの実力に頭が下がりました。

さて、今回は2年後に関西地区で担当することになっております。6年前に琵琶湖畔で開催し

た時の実務部隊は私も含めそのまま年齢を加え高齢化が課題となっています。その対応も兼ね、本年より体制の若返り化に着手しましたが、若手の準備委員候補がまだまだ不足しているのが実情です。今から、2年後に向け準備を進めて参りたいと思いますので、前回同様多くの皆様の参加の程、宜しくお願い致します。了



- 会員名簿 -

会員名簿は個人情報になりますので、お取扱にご注意をお願いします。

住所が空欄の方は、連絡方法がありません。お知り合いの方が居られましたら、ご本人様に、流星担当 武地 (最終ページに住所、Email アドレス掲示)に連絡いただこうお伝え願います。住所は、流星の配布やOB会からの連絡に使います。住所の記録がある方でも流星が返送されます。皆様も連絡先変更をご連絡いただくと幸いです。また、掲載を希望されない方はお申し出下さい。本表から削除します。

九州工業大学会 貴善会 自動車部OB会名簿(2015.11.5)

学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市
	18	芳賀			36	友永				46	井上			
	18	高橋			38	中原				48	大崩			
	21	藤田			39	池田				48	小島			
	22	石野			39	松本				48	高野			
	22	上野			39	三原				48	高尾			
	22	田中			39	宮村				48	平松			
	23	青木			39	古賀				48	古本			
	23	大井			39	米田				48	村上			
	23	小林			40	石川				49	河野			
	23	坂本			40	梅田				49	沼田			
	24	岩本			40	木田				49	佐藤			
	24	森山			40	橋本				49	時松			
	25	山崎			40	六木				49	アノ			
	25	白石			41	Row				49	堀川			
	25	中野			41	金野				49	富本			
	25	丸形			41	甲田				49	山崎			
	25	松浦			41	酒田				49	山崎			
	26	堂山			41	山田				50	渡野			
	26	塚田			42	市川				50	牛島			
	28	島			42	尾村				50	黒崎			
	28	山田			42	片田				50	佐田			
	29	城			42	加藤				50	西野			
	29	菅田			42	谷口				50	田中			
	29	山田			42	芳野				50	奥野			
	30	中野			43	宇野				50	中西			
	30	渡田			43	木野				50	西野			
	31	河野			43	津野				50	晴田			
	31	古田			43	清野				50	畑中			
	32	神田			43	高野				50	渡田			
	32	安光			43	中野				50	古川			
	33	池田			43	森田				51	白倉			
	33	高尾			43	山田				51	本吉			
	33	古原			44	伊藤				52	坂井			
	33	松田			44	井上				52	石田			
	34	堀谷			44	大木				52	坂井			
	34	白根			44	小宮				52	嶋田			
	34	富田			44	野村				52	永田			
	35	信田			44	鶴田				52	中野			
	35	津野			44	藤田				52	野村			
	35	山口			44	藤田				52	原野			
	36	藤田			44	藤田				52	松本			
	36	菅野			44	藤田				52	的場			
	36	木村			45	釘野				52	安永			
	36	佐田			45	坂本				53	江崎			
	36	谷野			45	榮田				53	西野			
	36	久野			45	田中				53	三浦			
	37	小野			46	八木				53	八木			
	37	木野			46	野村				54	藤田			
	37	木村			46	佐藤				54	石野			
	37	門田			46	新野				54	奥野			
	37	山田			46	中野				54	園田			
	38	大塚			46	野村				54	沼田			
	38	草野			46	橋本				54	坂田			
	38	高橋			46	福田				54	三宅			
	38	花田			46	藤田				54	西野			
	38	藤田			46	山田				54	西村			
	38	森田			46	山田				54	早田			
	38	宮野			46	古本				54	橋本			
	38	小宮			46	池				54	河野			
	39	杉本			47	安田				54	河野			
	39	高野			47	川野				54	藤田			
	39	田中			47	藤田				54	山田			
	39	常野			48	池田				54	西野			

九州工業大学 責善会 自動車部OB会名簿(2015.11.5)

【物故者】

学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市
	55	石田			63	御領				H14	松本				17	豊田			
	56	岩尾			63	坂口				H14	森				19	山本			
	55	太田			63	坂田				H14	渡辺				21	喜多			
	56	太田			63	高以				H14	安倍				21	古江			
	56	大原			63	永富				H15	石塚				21	今井			
	56	島原			63	真島				H15	村井				22	伊東			
	55	孝橋			H1	河野				H17	犬丸				22	越出			
	55	中村			H2	木戸				H17	西本				22	立松			
	55	福川			H1	黒田				H17	西野				23	紀田			
	55	淵上			H1	谷口				H17	田口				23	久保			
	55	松元			H1	鶴田				H18	延原				23	三重			
	55	光成			H1	永淵				H18	石丸				23	大野			
	56	石松			H1	藤嶋				H19	徳永				23	田中			
	56	須藤			H1	古寺				H19	泥谷				23	姓谷			
	56	高須			H1	元木				H19	藤川				24	高野			
	56	徳永			H1	山下				H20	安部				24	真那			
	56	平田			H2	今泉				H20	国吉				24	赤松			
	56	藤本			H2	高安				H20	倉本				25	溝口			
	56	武藤			H2	藤井				H20	平塚				25	酒井			
	57	石井			H2	山崎				H21	朝長				25	澤井			
	57	大島			H2	渡辺				H24中退	石原				26	後藤			
	57	大野			H3	須賀				H21	桑原				26	川崎			
	57	尾辻			H3	竹下				H21	花本				28	渡辺			
	57	小野			H3	林				H21	原島				29	吉田			
	57	川村			H3	福田				H22	北垣				32	笠原			
	57	白水			H4	内野				H23	香川				32	松吉			
	57	中村			H4	公山				H23	山端				32	川崎			
	57	島中			H4	白石				H417中退	大庭				33	小堀			
	57	山口			H4	宗雲				H23	岩本				33	中村			
	58	浦田			H4	谷尾				H25	飯田				33	林田			
	58	片岡			H4	山下				H25	西立				36	渡辺			
	58	島村			H4	山根				H25	渡辺				37	倉益			
	58	永井			H4	山本				H26	村田				38	森光			
	58	廣田			H4	吉住				H26	原				39	横田			
	58	前田			H5	家守				H26中退	八尋				40	大庭			
	58	三原			H5	紙谷				現役	漆原				42	浜本			
	58	森			H5	松尾				現役	坂元				43	伊藤			
	59	大井			H5	山口									47	濱田			
	59	小川			H6	川口									48	浜田			
	59	近藤			H7	桂									51	高橋			
	58	高橋			H7	原田									53	潮崎			
	59	津曲			H8	岡									56	府内			
	59	友田			H8	小西									57	寺田			
	59	長木			H8	中沢													
	59	長沼			H8	渡邊													
	59	那須			H9	小野													
	59	稗田			H9	徳崎													
	59	平瀬			H9	鈴木													
	60	井上			H9	宮城													
	60	小林			H9	森若													
	61	石井			H9	山本													
	61	一瀬			H9	渡邊													
	61	中村			H10	小早													
	61	福島			H10	高橋													
	62	小嶺			H10	遠山													
	62	近藤			H11	井手													
	62	真効			H11	中村													
	62	三角			H11	藤井													
	62	生越			H12	岩本													
	62	三好			H12	中本													
	62	諸岡			H13	貫村													
	62	山田			H13	山ノ													
	62	山本			H13	渡邊													
	63	小川			H14	柴田													
	63	柿木			H14	安部													

【編集後記】

今回は OB 会総会が関東地区で開催されました。その結果報告と現役支援活動の活発化で、流星の内容が盛りだくさんになりました。また、読みやすくするため文字も出来るだけ大きくしました。紙面の都合でまだ小さな字が有りますがご了承をお願いします。世界各地でテロが発生していて、他人事でなくなりつつある。地球人という価値観を作りたいが、出来ないものだろうか。(武)

発行日 平成 27 年 12 月 15 日
 発行者 九州工業大学責善会自動車部
 主将 近藤
 明専・九州工大自動車部 OB 会
 会長 木村
 編集者 武地(51)





明専・九州工業大学自動車部 OB 会
九州工業大学責善会自動車部